

院長にインタビュー

院長

お がわ しん
小川 信 先生

「多くの患者様の幸せに携われた瞬間は本当に幸せです。」

「大宮銀座通り歯科」は、小川信先生が2019年に開院された歯科クリニック。

院長の小川先生は、大学病院でインプラントの様々な症例経験を積まれた歯科医師です。

今回はそんな小川先生に、気になるインプラントのことやクリニックのことなどについて伺いました。

見た目も自然で、 使い心地もご自身の歯に近い

—— まずは初めの質問です。小川先生が考えるインプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

治療を行うにあたって他の歯への負担を軽減できることが最大のメリットだと思います。インプラントは欠損部に独立して埋入するため、残っている天然歯への影響を最小限に抑えることが期待されます。また、見た目も自然で、使い心地もご自身の歯に近い感覚が得られることも大きなメリットです。



—— インプラントはしっかり噛めるようになるということですね。それでは実際にインプラントにされた方のお声はいかがでしょうか？

インプラント治療を当院で受けて本当に良かったと言っただけのことが多いです。ほとんどの方が手術中の痛み、そして恐怖感に対して不安を感じていらっしゃるのですが、当院では全てのインプラント手術において静脈内鎮静法を使用しているため、多くの方が寝ている間に手術が終わり、想像以上に楽だったとおっしゃってくださいます。

—— メリットが多いインプラント治療ですが、中にはインプラントは「何となく怖い」というイメージを持つ方も多いと思いますが、実際のところどうでしょうか？

インプラント治療を行うにあたって、治療の正確さはもちろんのこと、患者様の不安や痛みの軽減も重要だと考えています。

当院のインプラント手術はインプラント1本であれば30分程度で、笑気麻酔※1と静脈内鎮静法※2を行うことによってほぼ寝ている間に手術が終わります。



また、当院では腫れや痛みを軽減する手術方法を豊富な知識と綿密な計画に基づき実践しておりますので、患者様に安心して治療を受けていただけるよう努めております。

※1 亜酸化窒素(笑気)と酸素の混合ガスを鼻から吸入し、リラックスして痛みを感じにくくする麻酔法です。

※2 眠くなりますが、意識がなくなり、自分自身で普段通りに呼吸ができ、呼びかけや刺激に対して反応可能な麻酔です。

患者様の喜びが スタッフのやりがいにもつながる

—— ところで小川先生は、常に進化するインプラントの技術、知識をどのように習得されておられますか？

私は、日本口腔インプラント学会*と日本顎顔面インプラント学会*の二つの専門医資格を取得しており、これは非常に専門性の高い証です。休日の研究活動や講演活動を通じ、常に最新の知識と技術を習得。これらの専門性と研鑽に基づき、患者様へ安全で満足度の高いインプラント治療をご提供できるよう、日々努めてまいります。

※日本口腔インプラント学会 口腔インプラント専門医
※公益社団法人日本顎顔面インプラント学会認定専門医

—— 日々の治療だけではなく、常に知識・技術向上にと研鑽されているんですね。

それでは治療をされる上で、患者様とコミュニケー

ションをどのように取っていらっしゃいますか？

当院にはインプラント治療をご検討されている患者様が多くいらっしゃいますが、そのほとんどが治療に対して不安と同時に希望を抱いておられます。その不安の具体的な内容、そして何を期待して当院にいらっしゃったのかを、初回のカウンセリングで詳しくお聞きするように心掛けています。

—— それだけ寄り添っていただくと患者様も安心ですね。それでは小川先生、ずばり！クリニックの強みはどこでしょうか？

治療時間・治療期間の短さとメンテナンスです。当院では、お忙しい患者様のため、治療時間・期間の短縮に努めております。来院は2週間に1回程度で、平均3～4ヵ月での治療完了を目指します。

また、インプラントを長く快適にご使用いただくため、術後の丁寧なメンテナンスも重視。専門の歯科衛生士がマイクロスコープを用いた定期検診で、長期にわたるサポートを行います。

—— 治療に学会、研究会にとご多忙だと思えますが、休日はどのように過ごされていますか？

休日は大学での研究に加え、多方面から声をかけていただき、出張手術や講演を行っております。また講習会等に参加して、日々アップデートされる知識、技術の研鑽を行っております。

—— それでは最後の質問です。小川先生にとってこの仕事の喜びとは何でしょうか？

患者様に治療後、直接お喜びの声をお聞かせいただくことが何よりの喜びです。それはやはり、インプラント治療に対する患者様の不安や期待が大きいからだと感じています。

そして、その患者様の喜びがスタッフのやりがいにもつながります。ストレスやプレッシャーを感じることも多い仕事ですが、多くの方の幸せに携われた瞬間は本当に幸せです。